

社会教育委員を 委嘱しました

5月18日(水)、社会教育委員に委嘱状が交付されました。

町民の皆さまの社会教育事業について、助言・調査研究や公民館活動の立案などを担います。

(任期は令和6年4月30日(火)まで)



前列左から 岡洋子委員、志賀雄一委員、佐藤秀三委員、星秀美委員
後列左から 馬場隆一委員(枠内)、笠井教育長、蒲原教育次長

スポーツ推進委員を 委嘱しました

5月26日(木)、スポーツ推進委員に委嘱状が交付されました。町民の皆さまの交流や健康管理、体力維持・向上などを目的としたスポーツ行事や体力検査などの企画に向けて活動します。

(任期は令和6年3月31日(日)まで)



前列左から 瀧幹一委員、笠井教育長、蒲原教育次長、中野豊子委員
後列左から 山田司委員、末永一之委員、蒔田由美子委員、大浦浩美委員、松崎光平委員

☎教育委員会事務局生涯学習係 ☎0240(34)3941

農業委員会だより

人・農地プラン座談会が、川添北地区では5月17日(火)に道の駅なみえ、加倉地区では5月28日(土)に浪江町地域スポーツセンターにおいて開催されました。

人・農地プランとは、農業者の話し合いに基づき地域の農業の将来の在り方を定めるものです。

座談会には地域の農業者や町・農業委員会・福島県農業振興公社などの関係機関が参加し、現在の地域の課題や今後の農地利用について地域の意向を反映したプランの策定に向けた方針が示されました。

川添北地区では、エゴマ栽培を主軸とした経営をしている若手農業者が中心経営体となり、農地の集約を進めていく計画です。加倉地区では、ほ場整備が予定されており、加倉生産組合へ農地を集約し水稻や玉ねぎ、エゴマの栽培に取り組む計画です。

農業経営の安定化や担い手の確保、施設の維持管理など様々な課題はありますが、解決に向けて今後も話し合いを重ねていきます。

8月総会に提出する議案の申請締切日は8月1日(月)です。
お早めにご相談ください。



川添北座談会



加倉座談会

☎農業委員会事務局(農林水産課内) ☎0240(23)5706



住んでいたいまち
住んでみたいまち

なかよく みんな えがおの
花咲くまち なみえ

町が行っている取組についてお知らせします。

原発事故による 帰還困難区域を抱える町村の 協議会の要望活動

5月13日(金)、霞が関において浪江町長が協議会長として、各町村長および議会議長と共に、復興庁、原子力災害現地対策本部、環境省などに対して帰還意向による避難指示解除への課題、帰還できない住民の土地・家屋の取扱いなどについて、帰還困難区域を抱える町村の復興・再生のため、一日も早く取り組むように要望しました。



☎企画財政課企画調整係 ☎0240(34)0240

町道「高瀬請戸線」が開通

6月6日(月)、請戸漁港小高瀬迫線として整備を進めていた町道高瀬請戸線が全線開通しました。

この道路は、国道6号から南産業団地、請戸住宅団地をとおり請戸漁港へ続く道路で、沿岸部から高台への津波避難に活用するとともに請戸漁港のさらなる利便性の向上が期待されます。



祝開通
高瀬請戸線
令和4年6月

☎建設課建設係 ☎0240(34)0244

大学等の「復興知」を活用した 人材育成基盤構築事業の 第1回浪江町分科会を開催

5月30日(月)、浪江町において『大学等の「復興知」を活用した人材育成基盤構築事業』の浪江町分科会を開催しました。福島復興に資する知見を集積・活用するため、大学などと協働し、復興を支える人材の育成や地域課題の解決、復興の加速化を図ることを目的とした事業です。

今年度採択した大学と事業は次のとおりです。

- ①弘前大学「浪江町の復興をフォローアップする地域人材育成のための保健・環境・防災教育プログラム」
- ②東北大学「福島浜通り地域社会フィールド実証学際拠点の構築」
- ③立命館大学「人文社会科学の復興知に基づく標葉地域の循環型共同教育の実践」
- ④東京農業大学「インターンシップ型農業・農村総合活性化戦略プロジェクト」

浪江町行政区長のお知らせ

☎総務課行政係 ☎0240(34)0235

5月16日(月)、行政区長委嘱式を開催し、49行政区を代表して権現堂1区の佐藤秀三区長に委嘱状を交付しました。各行政区長は下表のとおりです。

地区	行政区名	氏 名	地区	行政区名	氏 名	地区	行政区名	氏 名
浪江権現堂地区	1 区	佐藤 秀三	幾世橋	北棚塩	鎌田 光男	刈野	立野中	宮田 幸雄
	2 区	末永 福男		南棚塩	大原 教知		立野下	横山 晴男
	3 区	大友 光正	請戸	請戸北	佐山 弘		刈 宿	佐藤 孝男
	4 区	峯 勝美		請戸南	五十嵐光雄		加 倉	大浦 泰夫
	5 区	叶 経道		中 浜	川口 登		酒 田	鈴木 義雄
	6 区	黒坂 榮		両 竹	竹添 武		西 台	大倉 満
	7 区	島田 龍郎	大堀	畑 川	山崎 時雄		藤 橋	松本 善郎
	8 区	佐々木庸太郎		小 丸	山田 充	津島	羽 附	福島 衛治
浪江六地区	川添北	大和田和雪	大堀	井 手	新開 弘紀		津 島	氏家 高志
	川添南	安部 善治		末ノ森	志賀 元治		下津島	未定
	上ノ原	佐藤 秀雄		田 尻	中西總一郎		南津島上	紺野 宏
	樋渡・牛渡	鈴木 辰行		大 堀	近藤 公孝		南津島下	三瓶 禎信
	高 瀬	清水 淳助		小野田	植田 勝明		赤字木	今野 義人
	佐屋前	小池 清一		谷津田	原田 榮		手七郎	末永 一郎
幾世橋	幾世橋	永田 行直		酒 井	阿部 伸一		大 昼	佐々木保彦
	北幾世橋北	佐藤 幹治	刈野	室 原	小澤 晴久	(敬称略)		
	北幾世橋南	池田 陽一		立野上	加藤 修			

浪江町大気浮遊じんモニタリング測定結果（1月～4月分）

平成29年7月から、ダスト（粉じん）飛散による被ばくの実態調査を実施しています。

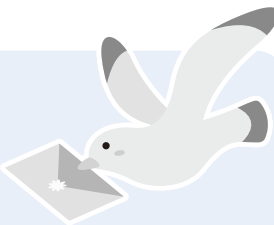
この調査による被ばくの影響については、福島大学環境放射能研究所の塚田祥文先生に大気浮遊じんモニタリング測定結果の評価をいただきながら進めています。

〔評価〕この間における吸引による各月・各地点の被ばく線量は、原発事故による追加の被ばく1 mSvに比べ極めて低い値でした。

☎住民課除染環境係
☎0240(34)0228

採取地点	採取期間	吸入による 内部被ばく線量	採取地点	採取期間	吸入による 内部被ばく線量
		134Cs+137Cs			134Cs+137Cs
		mSv			mSv
刈野中継ポンプ場敷地内	1月6日～2月3日	0.0000008	浪江町地域スポーツセンター敷地内	1月6日～2月3日	0.0000012
	2月3日～3月3日	0.0000011		2月3日～3月3日	0.0000018
	3月3日～3月24日	0.0000016		3月3日～3月24日	0.0000018
	4月1日～5月6日	0.0000027		4月1日～5月6日	0.0000029
旧浪江中央公民館刈野分館敷地内	1月6日～2月3日	0.0000009	震災遺構浪江町立請戸小学校敷地内	1月6日～2月3日	0.0000018
	2月3日～3月3日	0.0000014		2月3日～3月3日	0.0000015
	3月3日～3月24日	0.0000017		3月3日～3月24日	0.0000009
	4月1日～5月6日	0.0000026		4月1日～5月6日	0.0000015
大堀防災コミュニティセンター敷地内	1月6日～2月3日	0.0000016	いこいの村なみえ敷地内	1月6日～2月3日	0.0000019
	2月3日～3月3日	0.0000014		2月3日～3月3日	0.0000014
	3月3日～3月24日	0.0000020		3月3日～3月24日	0.0000015
	4月1日～5月6日	0.0000031		4月1日～5月6日	0.0000024
町道寺内川原線（谷津田地内）	1月6日～2月3日	0.0000012	幾世橋住宅団地	1月6日～2月3日	0.0000007
	2月3日～3月3日	0.0000019		2月3日～3月3日	0.0000009
	3月3日～3月24日	0.0000016		3月3日～3月24日	0.0000014
	4月1日～5月6日	0.0000028		4月1日～5月6日	0.0000023

「町長への手紙」への回答



2021年11月から始めました、町長への手紙ですが、2022年5月末時点で48通と多くの貴重なご意見、ご要望などをいただきました。

この場をおかりし感謝申し上げます。ご意見、ご要望については個別に回答させていただいているところですが、今回は、差出人が不明のため個別に回答できない、ご意見（一部抜粋）の回答を掲載いたします。

ご意見① 町は、水素工場や木材集成工場、福島県最東端などNo.1が沢山あることをもっとアピールしてほしい。また、請戸地区の津波に耐えた三本松もアピールしてはどうか？

回 答① 福島水素エネルギー研究フィールド（FH2R）や福島高度集成材製造センター（FLAM）など新産業の創出や林業再生に重要な施設のPRを今後も発信していきたいと思います。
また、前述の最先端の施設や三本松を含め観光周遊ルートへの利活用の検討も進めてまいります。

ご意見② 復興したところばかりでなく、津島のことをもっと取り上げてほしい。3月15日に逃げたあの日から一度も帰ってない。

回 答② 津島地区をはじめ帰還困難区域の現状の情報発信についてどのような方法が良いかも含め検討し、早期に対応してまいります。

ご意見③ SPEEDIの問題はどうなったのか？町として国や県になにかしらの行動をおこしたのか？

回 答③ SPEEDIの国や県の対応については、当時私も議長をしておりましたので承知しております。馬場前町長同様に無用な被ばくは避けられたと思っており、国や県に再三にわたり抗議等をおこないました。また、平成24年7月には全閣僚出席のもと実施された参議院の予算委員会に参考人として出席し、SPEEDIの情報がいかに大事であったかを訴えております。その後、平成26年10月8日の原子力規制委員会においてSPEEDIの運用における基本的な考え及び今後の対応が決定しました。
町としても原子力災害の教訓を後世に伝えていくとともに、国や県にも同様の対応と風化防止に努めていただくよう、引き続き要望してまいります。

ご意見④ 高齢者は帰りたいと思っていても、駅の階段の上り下りができない。早くエレベータを設置してほしい。

回 答④ ご不便をおかけし申し訳ありません。現在、浪江駅周辺整備（駅前再開発）の計画があり、その中でJR東日本と駅舎の改修と合わせて、設置に向けた協議をおこなっております。今すぐに設置は難しい状況ではありますが、設置に向け鋭意進めてまいりますのでご理解を賜りたいと存じます。

☎総務課秘書係 ☎0240(34)0239